青い山脈

本調子

わかく　あかるい　うたごえに　　なだれは　きえる　はなもさく

合	上	四	上	上	♭中	上	工	上	四	四	上

○	上	上	五	五	○	五	五	工	上	♭六	五	工

あ　おいさんみゃく　　ゆきわりざくら

尺	○	○	上	工	尺	○	♭中	上	四	♭中	上

○	○	♭老	乙	上	♭老	乙	合	乙	♭老	乙	

そらのはて　　きょうもわれらの　　ゆめ　　をよぶ

合	乙	♭老	四	上	○	○	上	四	上	♭中	工

♭中	上	○	♭中	上	五	○	○	上	♭六	五	工

○	○	上	上	上	上	上	上	♭老	乙	合	○

工	工	工	工	工	尺	♭中	上	四	♭老	乙	合

四	○	五	五	♭六	五	工	尺	工	工	尺	上

○	四	四	老	上	四	老	乙	合	上	上	

一、若く明るい　歌声に
雪崩（なだれ）は消える　花も咲く
青い山脈　雪割桜
空のはて
今日もわれらの　夢を呼ぶ

二、古い上衣（うわぎ）よ　さようなら
さみしい夢よ　さようなら
青い山脈　バラ色雲へ
あこがれの
旅の乙女に　鳥も啼（な）く

三、雨にぬれてる　焼けあとの
名も無い花も　ふり仰ぐ
青い山脈　かがやく嶺（みね）の
なつかしさ
見れば涙が　またにじむ

四、父も夢見た　母も見た
旅路のはての　そのはての
青い山脈　みどりの谷へ
旅をゆく
若いわれらに　鐘が鳴る